

# フोट句会 22年5月度成績

開催日：5月10日(火)

時 間：15時～17時

場 所：セー104号室

出席者：7名＋投句2名

写真出題：松田

# お題写真



## 付け句 出題：松田 (倉敷の美観地区)

- 1) ひとつち(人ん家)の前でメシ喰う昼寝する 三 春  
ちなみに門の下で座っている人達は、写生をしている由。
- 2) 見る前に写真パチパチ日本人 長尾 進一郎  
倉敷でなくても、どこにでも当てはまる句。
- 3) 撮られてる人妻見つめる独り者 松田 昌康  
お題の撮影者だけあって、登場人物の観察が鋭い。
- 4) 観光地歳それぞれの楽しみが 下山 健夫  
自由に歩き回って好きなように楽しむのが一番。
- 5) 財を成し地域文化に大原氏 清水 勝  
倉敷の発展に尽くし、大原美術館も創設した。
- 6) 西洋画脳は満腹生ビール 大越 浩平  
美術館を心ゆくまで見たあとの一服、至福の一日。
- 7) 写生中の邪魔を承知で写真撮る 松田 昌康  
座って写生している人も写真の邪魔になると思うが。





ネモフィラを

見られぬ乙女

恋破れ（勝）



# 朝ぼらけ 眠りから覚め さあ出発 (正二)





# 桜満開 来年はみな一年生 (晃也)





緑さす茶室の構え  
侘びと寂び  
(勝)





寸 評:

- 1) ネモフィラを見られぬ乙女恋破れ      清水 勝  
後ろ姿の写真で少女の悲しみを上手く表現した。
- 2) 朝ぼらけ眠りから覚めさあ出発      矢澤 正二  
霞む朝の車庫の写真に「眠りから覚め」がぴったり。
- 3) 桜満開来年はみな一年生      中村 晃也  
希望に膨らむ園児たちの自然な姿を捉えた。
- 4) 緑さす茶室の構え侘びと寂び      清水 勝  
緑一色の中に佇む茶室を情緒豊かに詠んだ。